

成人用風しんワクチン 予防接種費用助成について

玖珠町では、**先天性風しん症候群**の予防のため、成人用風しんワクチンの助成を行っています。

※風しんや先天性風しん症候群については裏面をご覧ください。

【助成対象者】

① 妊娠を希望する又は予定している 19 歳から 49 歳までの女性

※② ①の配偶者

※③ 妊婦の配偶者（事実婚を含む）

■ 注 意 事 項 ■

ただし、風しんの抗体価が基準値（H I 法抗体価 16 倍又は E I A 法 7.9 I U/ml）以下である証明が必要となります。

【助成金額】

5,000 円まで（生活保護世帯の方は全額助成）

※助成は 1 度きりで、**風しんの抗体検査費用は助成の対象外**となります。また、5,000 円を超過した分の費用の差額は本人負担となり、5,000 円を下回る場合は、かかった費用までとなります。

【対象ワクチン】

風しんワクチン 及び 麻しん風しんワクチン（MR）

【助成をうけるには？】

風しん抗体検査結果と印鑑、マイナンバーもしくは資格確認書を持って、役場子育て健康支援課までお越しください。（生活保護世帯の方は、生活保護受給証明書を持ってきてください）助成券を発行いたします。

発行された助成券を医療機関で提示すると 5,000 円の助成が受けられます。

【いったん、全額支払った場合は？】

風しん抗体検査結果、接種済証、領収書、印鑑、マイナンバーもしくは資格確認書、通帳を持って役場子育て健康支援課までお越しください。申請後約 1 ヶ月で、助成額をお振込みします。

注意点：申請期限は、当該年度の 3 月 31 日までです。3 月中に予防接種を行った場合は、翌年度の 4 月末までに申請を行ってください。

風しん抗体検査につきましては、大分県の助成制度があり、無料で受けることができます。詳しくは、大分県健康政策・感染症対策課（☎097-506-2776）または大分県ホームページをご覧ください。



妊娠中は風しん予防接種ができないんだ。お父さんや家族からの感染を防ぐために風しん抗体価を調べよう！

【R8 協力医療機関】

医療機関名	電話番号	抗体検査	予防接種	実施曜日	実施時間	予約
武田医院	72-0170	○	○	月～金	(月～金) 9:00～10:30	要
長内科小児科胃腸科医院	72-2143	○	○	月～土	(月～金) 9:00～12:00/14:00～17:30 (土) 9:00～12:00	要
協心橋病院	72-2135	○	×	抗体検査の実施曜日・時間については、医療機関へ問い合わせてください。		要
小中病院	72-2167	○	○	月～土	(月～金) 8:30～11:45、14:00～17:30 (土) 8:30～12:45	要
友成医院 (玖珠町)	72-0330	○	○	月・木 金・土	(月・木・金) 9:00～11:30、14:00～17:00 (土) 9:00～11:30 ※お産・手術で急遽、休診の場合あり	要
玖珠記念病院	72-1127	○	○	月～金	(月～金) 9:00～11:00、14:00～16:00	要
荒木医院	72-2466	○	○	月～土	(月・火・木・金) 8:30～12:00、14:00～17:30 (水) 8:30～12:00、17:00～17:30 (土) 8:30～12:00	要
三池循環器科内科クリニック	72-6101	○	×	抗体検査の実施曜日・時間については、医療機関へ問い合わせてください。		要
井上医院	76-2711	○	○	月～土	(月～金) 9:00～11:30/14:00～16:00 (土) 9:00～10:30	要
矢原医院	77-6121	○	×	抗体検査の実施曜日・時間については、医療機関へ問い合わせてください。		要
友成医院 (九重町)	78-8811	○	×	抗体検査の実施曜日・時間については、医療機関へ問い合わせてください。		要
飯田高原診療所	79-2138	○	○	月～土	(月～金) 9:00～12:00/13:30～16:30 (土) 9:00～11:00	要

【「風しん」とは？】

ウイルスに感染してから 14～21 日の潜伏期間の後、発熱とともに全身に淡い発疹が出現します。通常 3 日程度で消失し、麻疹（はしか）のように発疹のあとが長く残ることはありません。基本的には予後良好な病気ですが、免疫のない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風しん症候群を発症することがあります。

【「先天性風しん症候群」とは？】

妊娠中の感染時期により症状が異なりますが、特に妊娠 2 か月以内の女性が風しんにかかると、出生児は先天性の心臓病、難聴、白内障、網膜症などの 2 つ以上をもって生まれてくることが多く見られます。

その他、子宮内での発育が遅い、網膜の病変、緑内障、小頭症、髄膜炎、精神運動発達に遅れがある、肝臓や脾臓が腫れる、血小板減少性紫斑病などの症状が出生児に認められる場合があります。

家族みんなで
赤ちゃんを守ろう！

